

★ 第22回 白石区民ふれあい健康マラソン

第22回白石区民ふれあい健康マラソン大会が、9月28日〔日〕に晴天のもと、万生公園グラウンドを発着としたサイクリングロードをコースとして開催されました。インターネット等での参加申し込みで、842名、大会当日の出場者数は720名でした。親子ペアから10kmまでの9種目に老若男女そろって一杯の力走でした。



白石東地区より出場した選手の中で、一般男子5kmでは、白石東地区に居住し、消防局東白石出張所に勤務されている方が優勝しております。また、この方は、10月5日〔日〕に開催された第39回さっぽろマラソン大会にも出場し、男子50才代において10km走で優勝しております。さっぽろマラソン大会の出場者数は13,993名で、50才代10km走男子の部には、444名が参加しておりました。



★ 第24回 白石東地区卓球大会

第24回白石東地区卓球大会が、10月26日〔日〕に大谷地小学校体育館で開催されました。小学校の学習発表会のところもあり、参加者は選手45名でしたが、選手諸君の活躍により、和やかなうちに終了いたしました。



昨年度に続き小学生男女低学年の部、高学年の部をリーグ戦で実施し、リーグ戦トップの選手による決勝トーナメント戦で実施いたしました。大人の方の参加者が少なく一般・壮年を合同で男子の部・女子の部としてリーグ戦で実施いたしました。

成績は、小学生低学年の部 優勝は 大谷地第一町内会の3年生の男子児童でした。小学生高学年の部 優勝・準優勝は 柏町内会の6年生児童、第3位が東白石町内会の6年生の男子児童でした。一般男女・壮年部では、経験の差なのか、いず



れも壮年の部にエントリーした柏町内会の方が優勝いたしました。

会場のあちらこちらで、歓声が上がり、卓球を楽しんでいた様子がうかがえ有意義な大会であったと思います。

★ 第42回 白石区民卓球大会

第42回白石区民卓球大会が、11月23日〔水・祝〕に白石区体育館で開催されました。今年度は、地区代表による団体戦のエントリーがなく、個人戦のみの大会となり、出場選手数は150名でした。

小学生の部では出場選手が少なく男女混合によるリーグ戦で実施、白石東地区は準優勝と第3位の成績でした。壮年男子はリーグ戦で実施し、準優勝でした。一般・壮年女子も合同でリーグ戦で実施し、壮年女子の方が準優勝でした。地区大会・白石区民大会の開催にあたり、運営に携わった皆さん、選手の皆さん、保護者の皆さんに、感謝申し上げます。

白石東地区では、町内会連合会、体育振興会、まちづくり協議会、青少年育成委員会、白石東地区センター等で各種スポーツ・文化イベントを予定しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今後の予定は、平成27年1月25日〔日〕白石東地区室内スポレク大会、2月19日〔木〕地区センターゲートボールを楽しむ会、2月22日〔日〕白石区民室内スポレク大会が予定されております。

取材担当：長井



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!



新年巻頭の辞

新年巻頭の辞

白石東地区町内会連合会
会長 板垣俊夫



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、素晴らしい1年となりますようご祈念申し上げます。

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より年3回発行し、現在本紙を数えて第30回となりました。本紙は、白石東地区町内会連合会が中心となっている白石東地区まちづくり協議会が主体となって通信記事の配信を行っております。

白石東地区町内会連合会は、14の単位町内会、自治会で構成されており、世帯数としては約5,300世帯が加入し、北はJRの線路から南は栄通までであり、東は厚別川から西は月寒川までの管轄となっています。当連合会としては、白石東地区の発展と地域住民福祉の向上に取り組み、もって安心してしかも安全に明るく住み良い地域社会を築くことを目的としています。当連合会が主体となっている白石東地区まちづくり協議会は、白石東地区の住民組織、各種団体、学校等が連携協力し合い、各種行事を通じて白石東地区を住みよい街にしていくことであります。その為に、町内会、自治会を中心にPTA、小学校、中学校、社会福祉協議会、青少年育成委員会、民生委員・児童委員協議会等41団体で構成されております。

まちづくり活動については、「安全まちづくり」・「世代交流」・「地域情報発信」・「環境・美化」の4つのプロジェクトを組織し、様々な活動を推進しているところであります。特に「環境・美化」プロジェクトでは、サイクリングロードのトンネルの両壁面にモザイクタイルアートを施し、美術的な空間を演出しており、他に類の見る事ができないものであります。また当連合会は東西に河川を有しているため、河川の清掃にも取り組んでおり、白石区土木センター、企業各社と連携して河川の美化活動を遂行しているところであります。この事によって、北海道知事より平成26年2月17日河川愛護の推進に多大の貢献をされたとの功績により、「北海道社会貢献賞」の荣誉ある表彰を授与されたわけであり、これも偏に皆様のご尽力の賜物と有難く御礼を申し上げます。

この情報紙が皆様の生活における心の糧の潤いの一助ともなれば幸甚でございます。今後とも、当まちづくり協議会の発展のために、皆様一人一人の更なるお力添えをお願い申し上げ、新年の巻頭の辞とさせていただきます。

取材スタッフ 嶋崎〔まち協〕・杉浦〔まち協〕・福田〔まち協〕・中村〔まち協〕・長井〔体振〕

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内
TEL: 011-862-0813 FAX: 011-862-8694 (休館: 土・日・祝日)

スタッフ
募集中!



白石東地区防災訓練一開催

広島市に台風の豪雨による大規模な土砂災害が発生。また9月11日の札幌市の集中豪雨では、白石区の厚別川・月寒川で危険水位を超える様な状況になり、約90万世帯に避難命令が出る始末です。さらに、11月22日には長野県白馬村等で震度6弱という地震が発生し、ここ3～4か月の間だけでも全国で災害が多発しております。このような状況の中で、去る10月11日(土)10時から12時の予定で、白石東地区防災訓練が吉田山公園(南郷通20丁目南)で開催され、昨年より多い249名の参加者により①救命訓練②煙道通過訓練③消火訓練④ロープ結束訓練⑤運搬訓練等が行われました。



毎年訓練に参加していても、1年も経過するとその内容も忘れてしまい、白石消防署の職員や消防団員の方々の指導と助言を受け、悪戦苦闘しながらも無事に訓練を終了することが出来ました。この防災訓練を通じて感じたことは「訓練を受けていないと万一の場合には自分も家族の命も守れない」ということです。



皆様、来年も是非一人でも多くの方に参加を戴き、安全に備えましょう。

近年、政府も地方自治体も「自分の身は自分で守りましょう」と言っております。

<空き家調査>

昨年と本年、町内会長宛に札幌市消防局から空き家調査の依頼が来ております。この事は、少子高齢化・人口減少等に伴い空き家・空き店舗が増加し、防火・防犯・治安の悪化をまねき、住みよい街が失われようとする現象が起きていることを示すものと思われまます。

是非、皆様で住みよい街づくりのために身近なことからご協力をお願い致します。

取材担当：中村

白石東青色パトロール隊勉強会



去る10月15日、隊員28名(欠席4名)と各町内会長の出席を頂き、白石東青色パトロール隊の勉強会と親睦会を開催いたしました。

当日は北海道警察白石署より生活安全課 林 達也主任を迎え、地域内の犯罪発生状況やその傾向等について説明を受け、また交通事故の発生状況については、特に高齢者の被害が多発しているとのことで、今後ともパトロール隊として、「注意喚起」が大いに重要との講話を頂きました。

平成18年10月に発足の「白石東パトロール隊」も早や8年を経過した現在、小学生の下校時には「青パト隊」だ!!と手を振ってくれ、幼稚園・保育園帰りの幼児と母親からも笑顔を送られるようになりました。

普段は隊員同志の親睦の機会が無いため、年1回の勉強会後の親睦会では色々な情報交換等で話も盛り上がり、今後一層の活躍と地域内の事故・事犯減少に役立つ事を誓い終了しました。出席下さいました各町内会長様、有り難うございました。

地域の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

取材担当：杉浦

第5回白石東地区健康まつり

地域住民の皆様、健康第一



今年、平成26年度も、9月29日(月)午後1時30分から午後3時30分まで、白石東地区センターにおいて「健康まつり」が開催されました。

昨年同様会場内は1階と2階に各コーナーを設け、今回は初めて「鍼灸柔整マッサージ」を1階に設置したところ、多数の参加者が会場に入ると早々に整理券を申し込まれ、大人気となりました。

また「体の測定」や「骨密度測定」あるいは「脈年齢測定」等のコーナーにも多くの人々が参加しており、日常生活や暮らしの中ではあまり自分の健康状態について知ることが出来ませんが、この機会に種々の測定や検診を受けられて大変良かったと、みなさん帰る際こ言っておりました。

来年も皆様の「健康管理」に役に立つ企画を準備して「健康まつり」を開催しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(主催)白石東地区町内会連合会、白石区介護予防センター本通、白石区第3地区包括支援センター
(共催)白石東地区社会福祉協議会

取材担当：嶋崎



交通安全活動

★ シルバーエイジ交通安全教室

白石東地区まちづくり協議会が主催し、交通安全実践会と交通安全母の会が協力しています「シルバーエイジ交通安全教室」が平成26年10月31日(金)に開催されました。交通安全教室は、シルバーエイジの皆さんが交通事故にあわないよう、交通安全の意識を高めていただくことを目的に開催しているもので、今回は100名以上のシルバーエイジの方々に参加されました。



さて、9月末現在の札幌市の交通事故による死亡者は17人、このうち65才以上の高齢者は8人と約半数を占めています。その多くが歩行中または自転車乗用中に起こった事故により命を落としています。

今回の教室では、白石警察署交通一課企画係長 藤田利文係長から講和「高齢者の交通事故防止について」、白石交通安全運動推進委員会からは交通教育指導委員による交通安全教室がありました。また、ビデオ上映では「マギー司郎のお年寄りの交通安全」など、お年寄りの交通安全をモデルにしたものでした。参加者の皆さんは交通ルールやマナーを改めて認識され、皆で交通安全の意識を高めることができました。日常から交通ルールを守って元気に暮らし、車が見えたら横断しない、信号を守って横断歩道を渡るなど、高齢者のみなさんの交通事故防止を心掛けましょう。

★ 秋の交通安全特別大会と大型街頭啓発



「交通事故や犯罪など、人為被害をなくしたいですね、改めて交通安全活動・地域活動にお申し込み上げます。いよいよ秋の交通安全をステップとして悲惨な交通事故が1件でも少なくなるよう、皆様方の協力と頑張りを宜しくお願い致します。」、開催ご先立ち白石区長、白石警察署長のご挨拶がありました。

秋の交通安全特別大会と大型街頭啓発は、平成26年9月24日(水)午前10時から、秀岳荘駐車場、本通1丁目国道12号線交差点を中心に横断幕、のぼり、旗等で啓発が行われました。500人以上の参加者が集まり、盛会の内に終わる事が出来ました。有り難うございました。

★ 白石区バス専用レーン遵守街頭啓発

札幌市では、人や環境に配慮した安全で快適な交通体系と生活環境づくりを目指し、公共交通機関の利用を軸とする人に優しい交通対策を推進しています。その一環として、この街頭啓発は、専用レーンでの走行を確保することでバスの定時運行を維持するとともに、マイカーの乗り入れを規制して交通渋滞の緩和を図ることを目的に実施されています。バス専用レーン(国道12号線バス専用レーン)の進入指定外車両に対し、横断幕、のぼり、旗等でバス専用レーン遵守の呼びかけを行っています。

啓発場所 白石区本通14丁目南国道12号線

実施日時 ①平成26年7月17日、②平成26年9月29日・午前8時20分～8時40分

白石区役所、交通安全推進委員、交通安全指導委員、中央バス、ジェイアール北海道等の協力を頂いて実施しています。

取材担当：福田